

## 6 ビューティフル・ウィンドウズ運動

- 
- (1) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況
  - (2) 治安が改善していることの認知
  - (3) 居住地域の治安状況
  - (4) 区内の治安が良いと感じる点
  - (5) 区内の治安が悪いと感じる点
  - (6) 治安対策として区に力を入れてほしいこと
  - (7) 駐輪時の鍵かけ状況
-



## 6. ビューティフル・ウィンドウズ運動

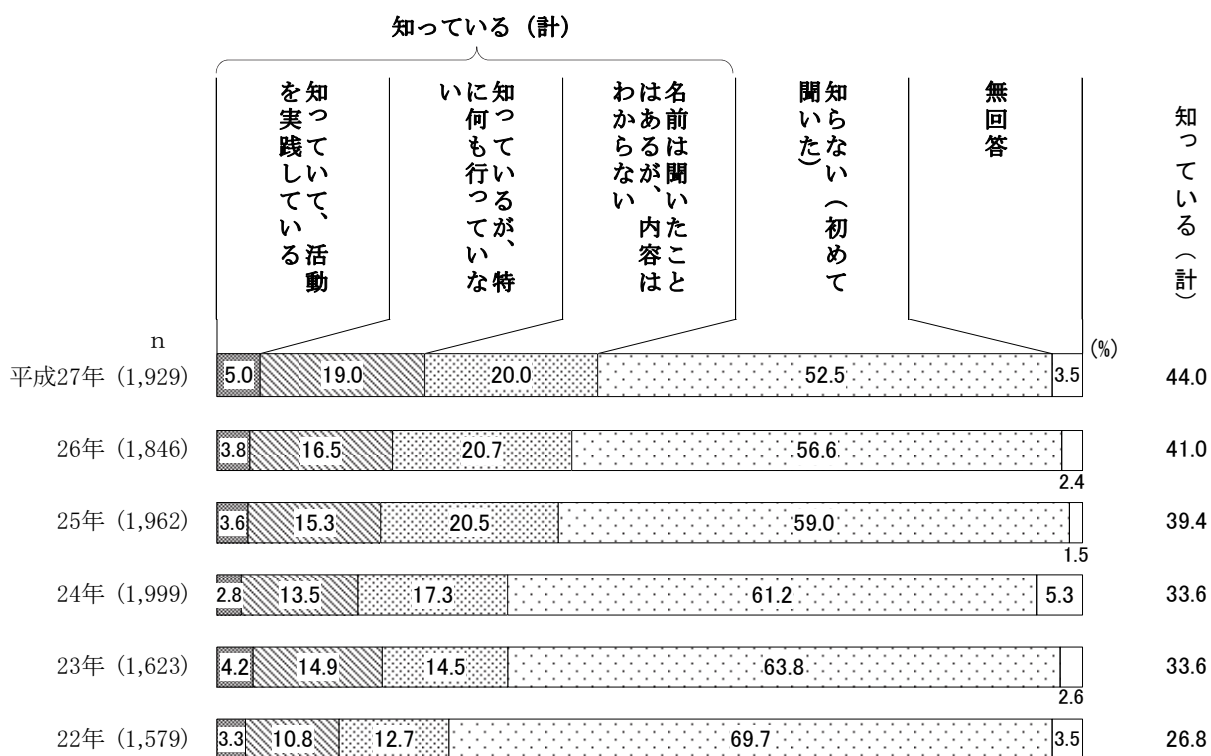
### (1) 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況

■ 【知っている】は4割台半ばになり、認知度は年々上昇している

問23 あなたは、足立区が取り組んでいる「ビューティフル・ウィンドウズ運動（※）」という取り組みを知っていますか（○は1つだけ）。

※ 「ビューティフル・ウィンドウズ運動」とは「美しいまち」を印象付けることで犯罪を抑制しようという足立区独自の運動です。区は、警視庁や区民のみなさんと協働して、まちの美化活動や防犯パトロールなどの取り組みを推進し、犯罪のない住みよいまちの実現をめざしています。

図6-1-1 経年比較／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況



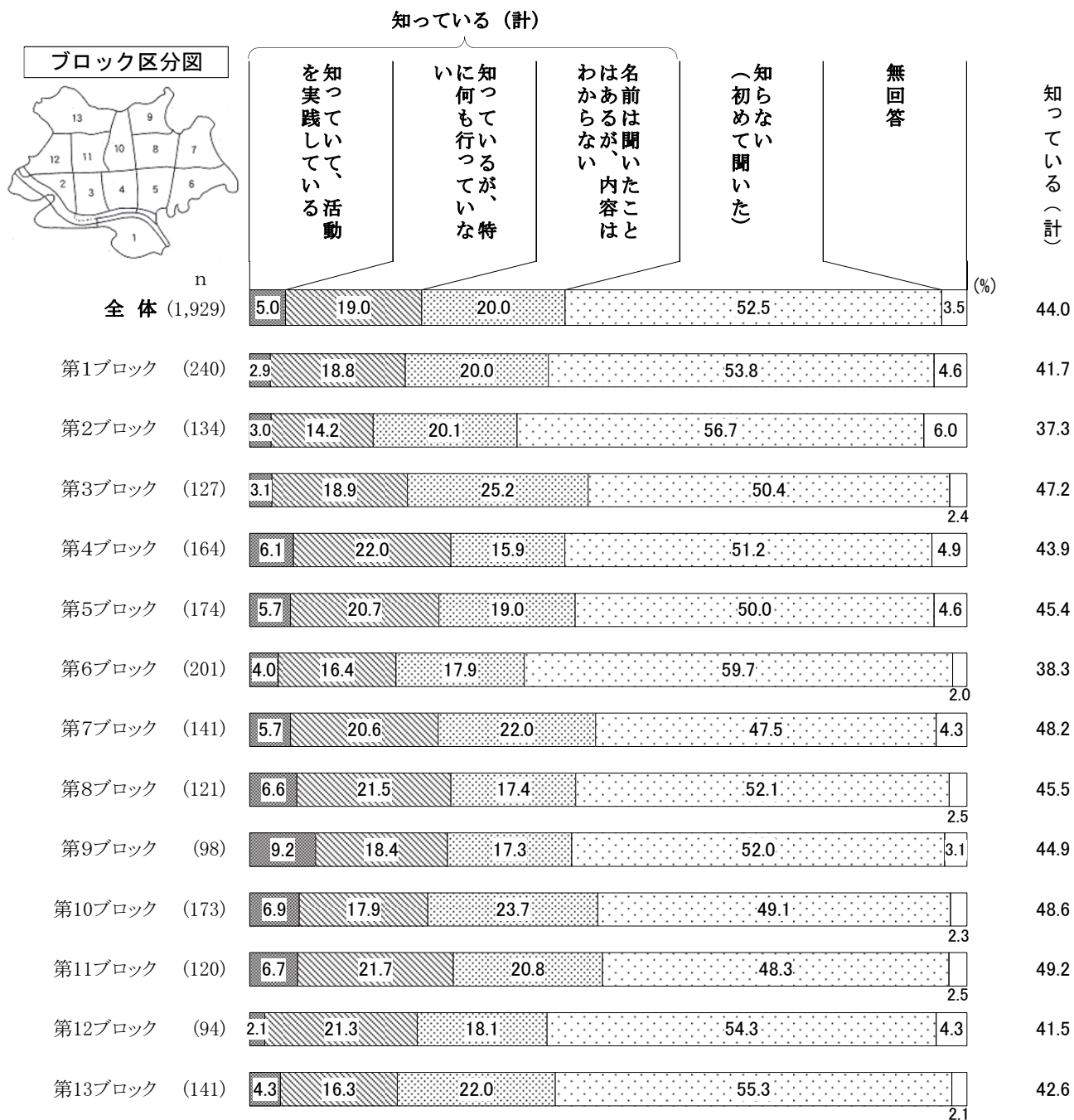
「ビューティフル・ウィンドウズ運動」について、「知っていて、活動を実践している」は5.0%で、これに「知っているが、特に何も行ってない」（19.0%）、「名前は聞いたことはあるが、内容はわからない」（20.0%）を合わせた【知っている】は44.0%となっている。

経年でみると、平成22年以降、【知っている】は増加傾向にある。

### 第3章 調査結果の分析

地域ブロック別で見ると、第7ブロック、第10ブロック、第11ブロックでは【知っている】が、いずれも5割近くを占めて、他のブロックに比べて高くなっている。また、第9ブロックでは「知っていて、活動を実践している」が9.2%と、全ブロック中最も高くなっている。

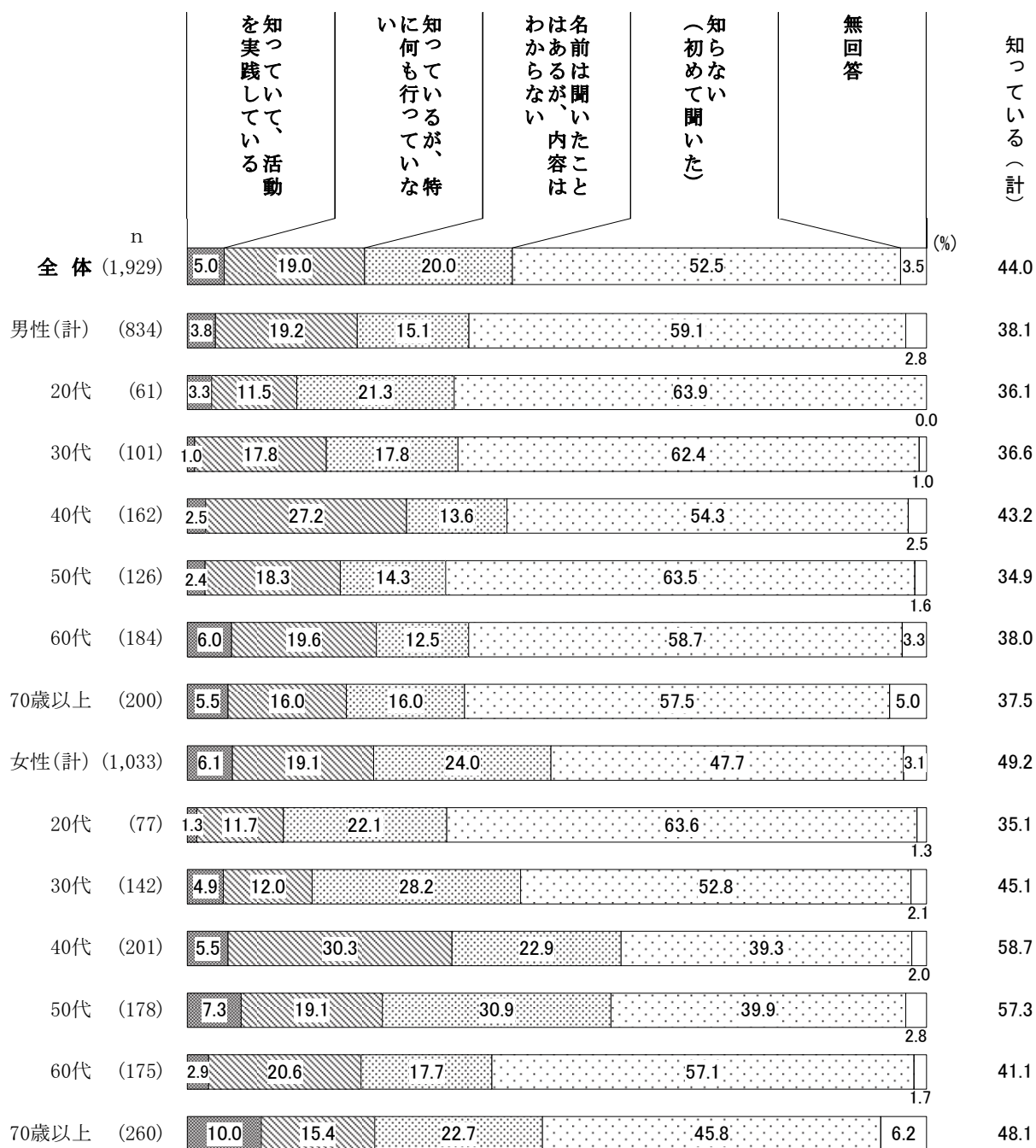
図6-1-2 地域ブロック別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況



性別でみると、【知っている】は男性38.1%、女性49.2%と、男性より女性が高くなっている。  
 性・年代別でみると、男性では、40代で【知っている】が43.2%と、他の年代に比べて高くなっている。60代、70歳以上では「知っていて、活動を実践している」が、それぞれ6.0%、5.5%と高くなっている。

女性では、40代、50代で【知っている】が、それぞれ58.7%、57.3%と、他の年代より高くなっている。50代、70歳以上では「知っていて、活動を実践している」が、それぞれ7.3%、10.0%と、他の年代よりやや高くなっている。

図6-1-3 性別、性・年代別／「ビューティフル・ウィンドウズ運動」の認知状況



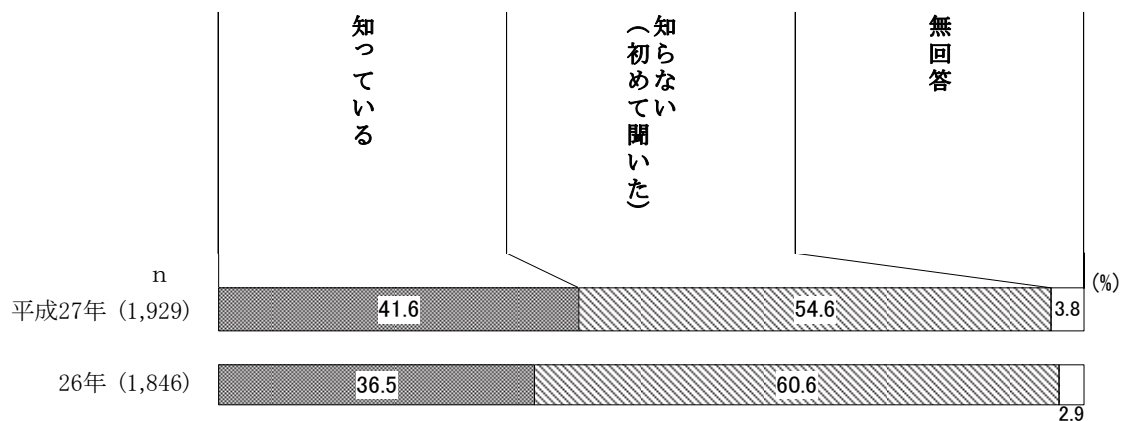
(2) 治安が改善していることの認知

■ 「知っている」は4割強

問24 あなたは、平成26年の足立区内の刑法犯認知件数（※）が減少し、治安が改善していることを知っていますか（○は1つだけ）。

※ 警察が犯罪について、被害の届出などによりその発生を確認した件数。ただし、交通違反などを除きます。

図6-2-1 前回調査比較／治安が改善していることの認知

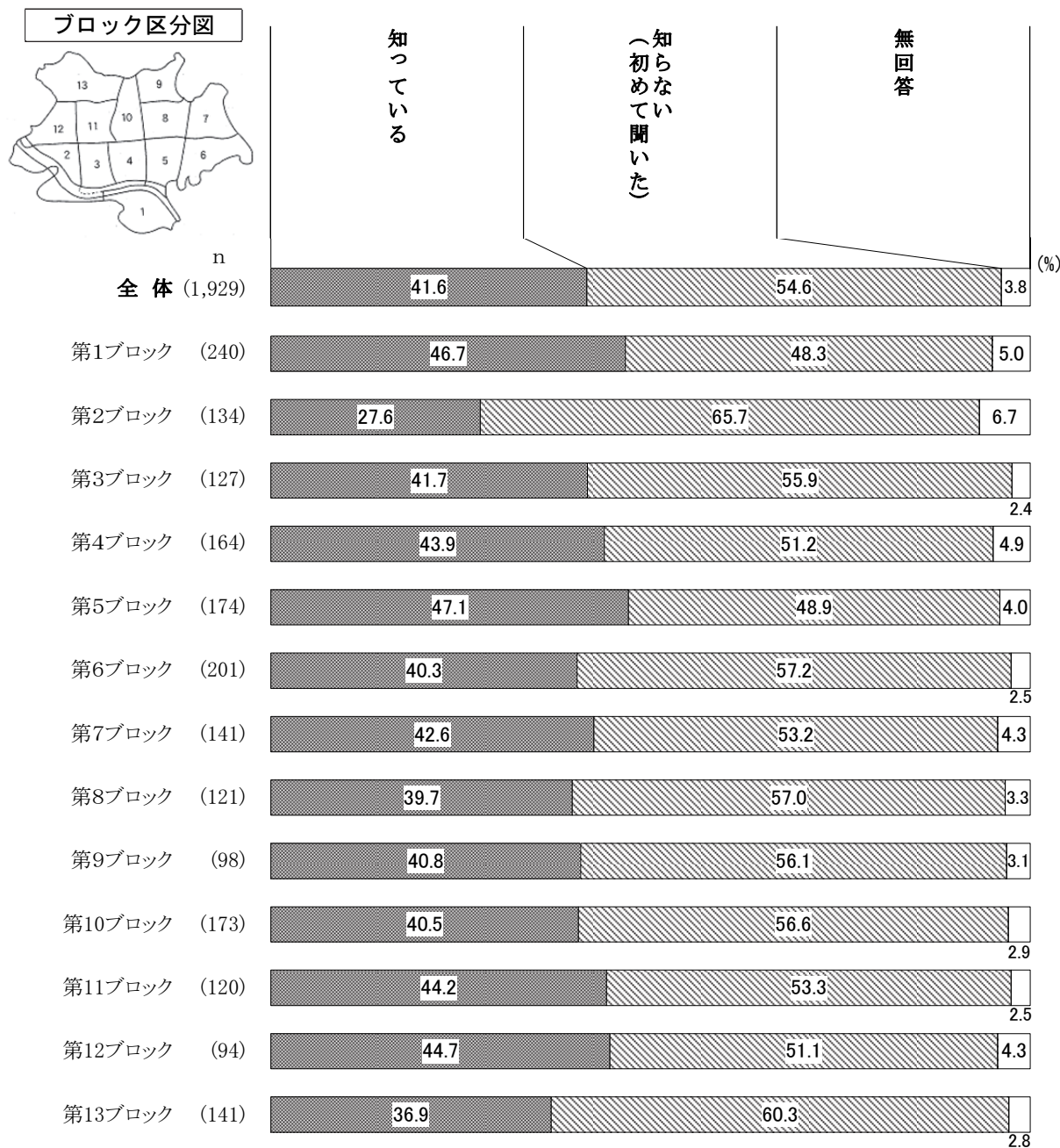


足立区内の刑法犯認知件数が減少していることを「知っている」は41.6%である。一方、「知らない」は54.6%となっている。

前回調査と比較してみると、「知っている」は、今回41.6%と、前回の36.5%から5.1ポイント増加している。

地域ブロック別で見ると、第2ブロック、第8ブロック、第13ブロックを除くと、いずれのブロックでも「知っている」が4割を超えている。一方、第2ブロックでは、「知っている」が27.6%と、他のブロックに比べて低くなっている。

図6-2-2 地域ブロック別／治安が改善していることの認知



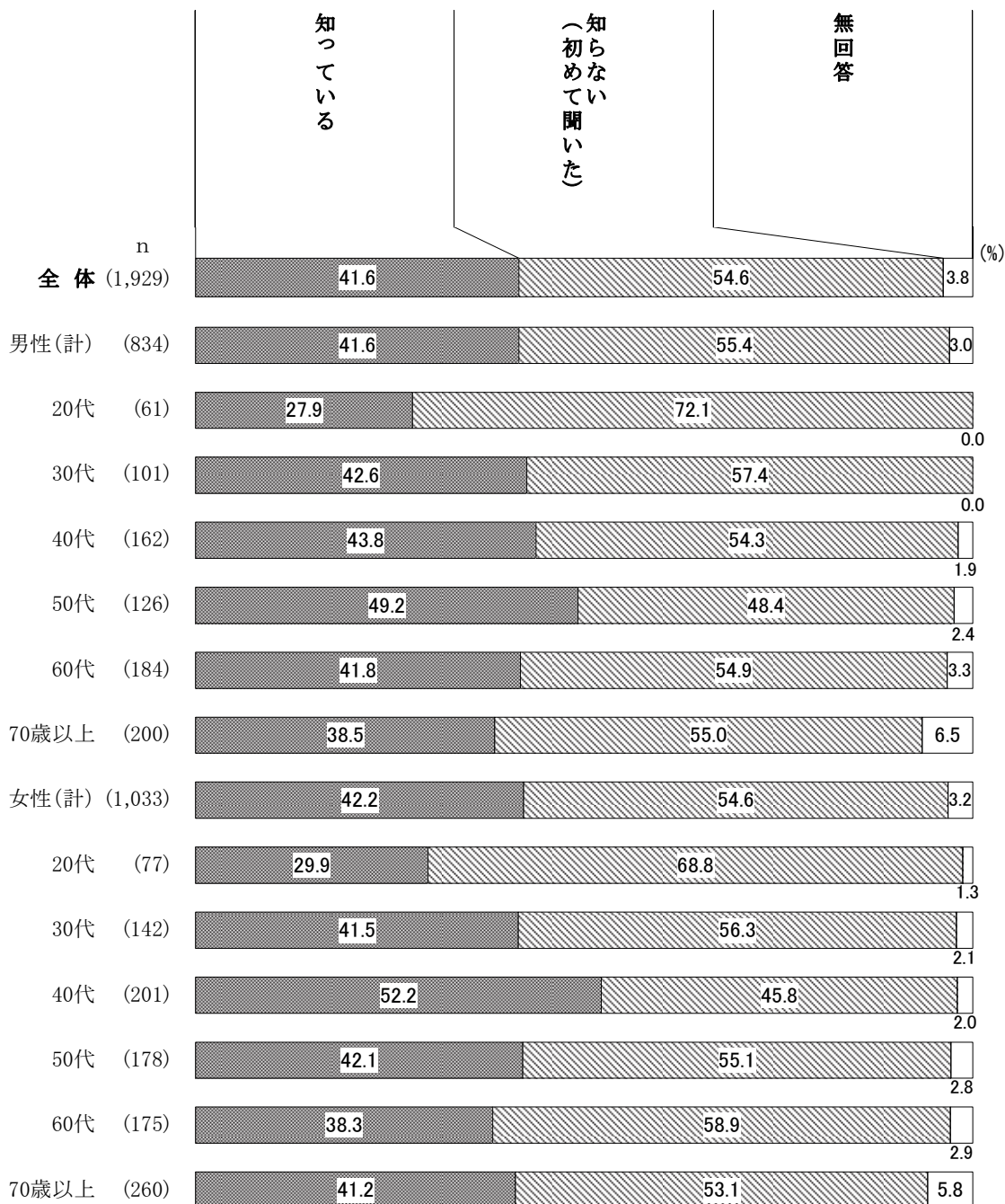
### 第3章 調査結果の分析

性別で見ると、「知っている」は男性41.6%、女性42.2%となっている。

性・年代別で見ると、男性では、50代で「知っている」が49.2%と高くなっているほか、30代から40代、60代から70歳以上でも4割前後となっている。

女性では、40代で「知っている」が52.2%を占めているほか、30代、50代から70歳以上でも4割前後となっている。

図6-2-3 性別、性・年代別／治安が改善していることの認知





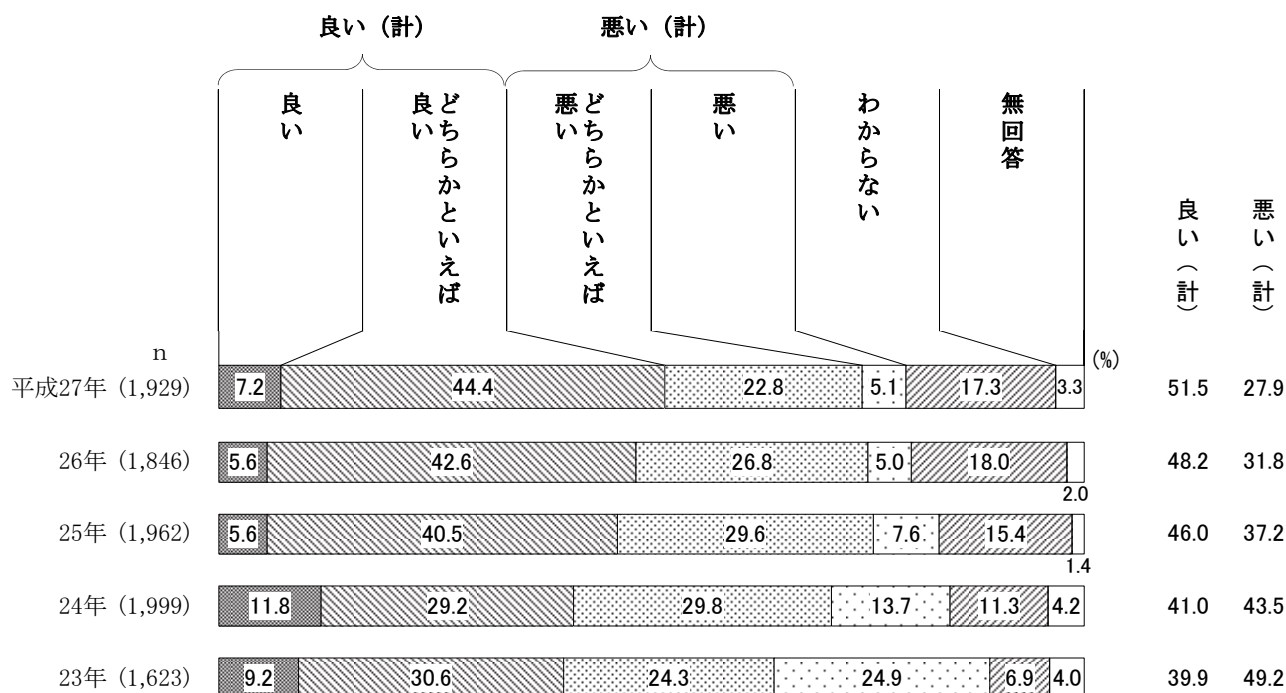
(3) 居住地域の治安状況

■ 【良い】は5割を超え、年々上昇している

問25 あなたは、お住まいの地域の治安（※）について、どのように感じていますか（○は1つだけ）。

※ 犯罪が少なく、世の中の秩序が保たれている状態のことです。

図6-3-1 経年比較／居住地域の治安状況



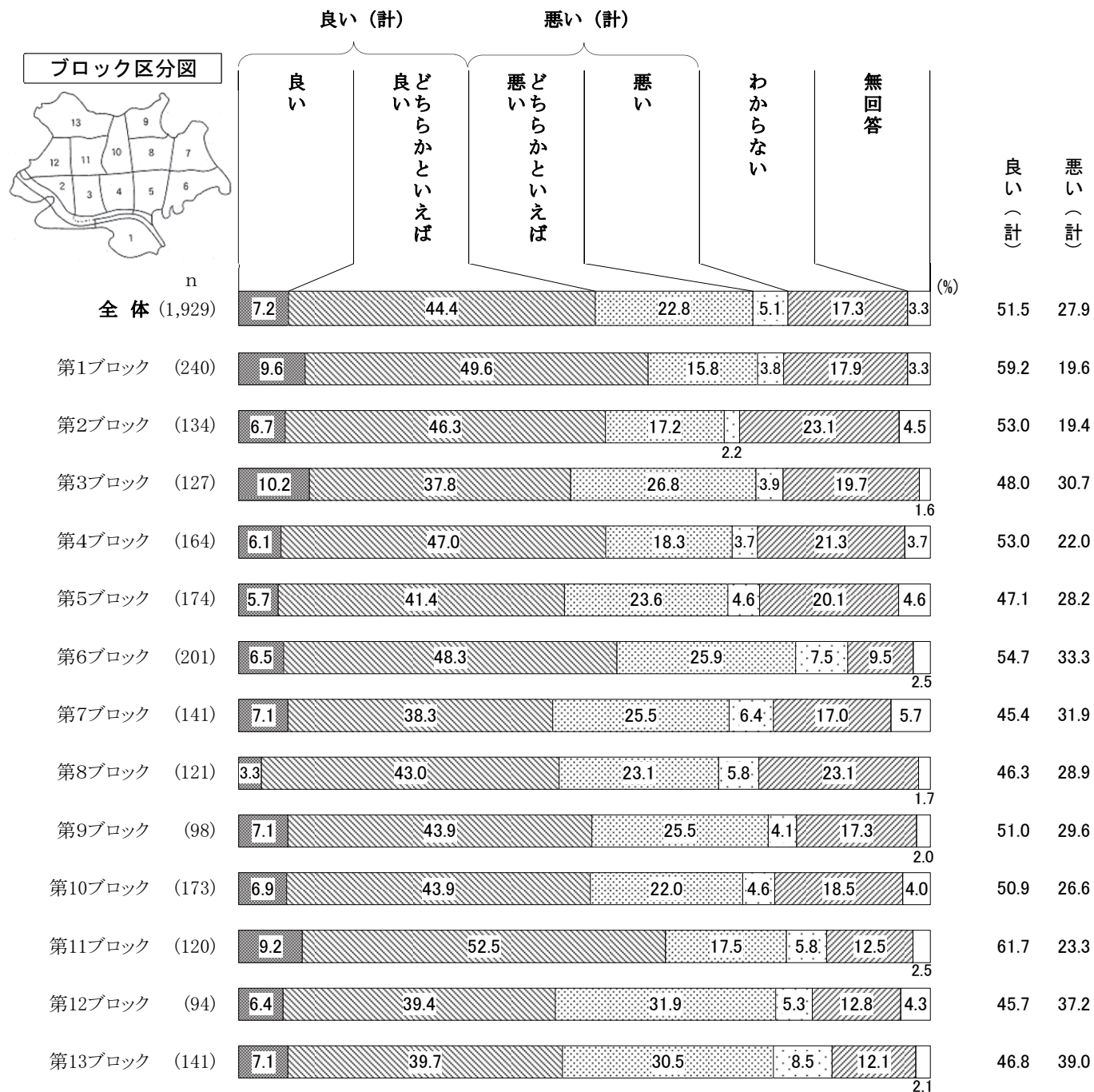
住んでいる地域の治安について、「良い（そう思う）」が7.2%で、これに「どちらかといえば良い（ややそう思う）」の44.4%を合わせた【良い】は51.5%である。一方、「どちらかといえば悪い（あまりそう思わない）」（22.8%）と「悪い（そう思わない）」（5.1%）を合わせた【悪い】は27.9%となっている。

経年でみると、今回は【良い】が51.5%と、平成26年の48.2%を3.3ポイント上回り、平成23年以降、増加傾向が続いている。

第3章 調査結果の分析

地域ブロック別で見ると、【良い】は第11ブロックで61.7%と最も高く、以下、第1ブロック（59.2%）、第6ブロック（54.7%）の順となっている。一方、第12ブロック、第13ブロックでは【悪い】が、それぞれ37.2%、39.0%と、他のブロックに比べて高くなっている。

図6-3-2 地域ブロック別／居住地域の治安状況

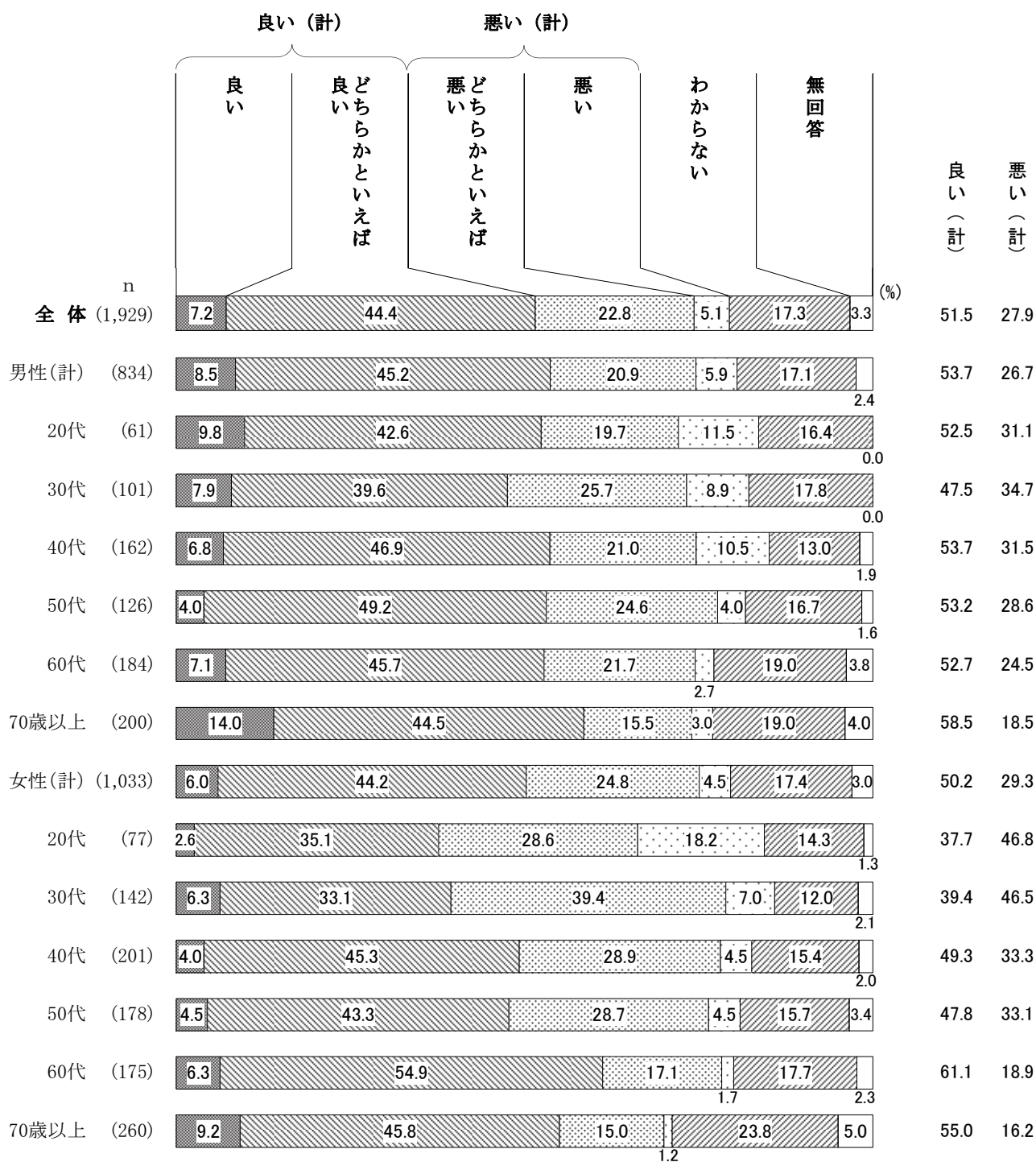


性別でみると、【良い】は男性53.7%、女性50.2%となっている。

性・年代別でみると、男性では、30代を除くと、いずれの年代でも【良い】が5割を超えている。

女性でも、20代、30代では【悪い】が、それぞれ46.8%、46.5%と高くなっているが、40代以上では【良い】との評価が【悪い】との評価を上回り、60代では【良い】が61.1%を占めている。

図6-3-3 性別、性・年代別／居住地域の治安状況



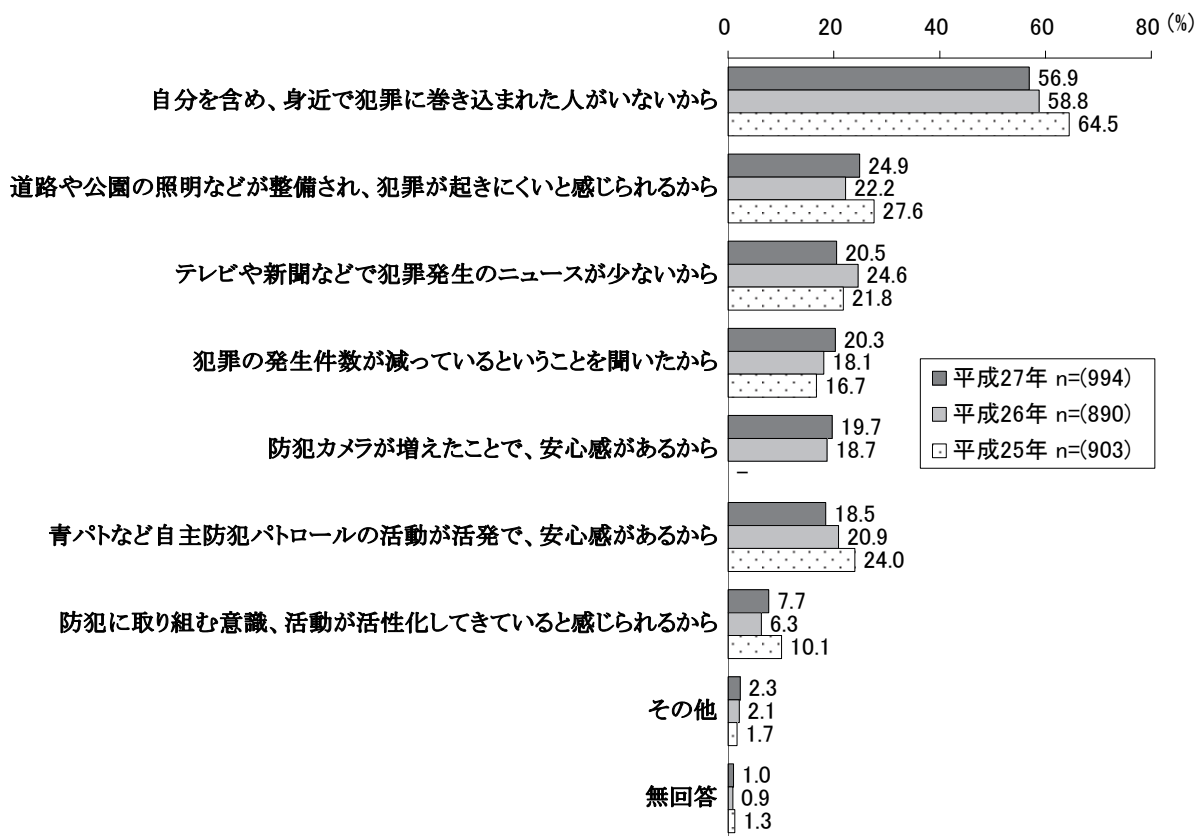
(4) 区内の治安が良いと感じる点

■ 特に多いのが“犯罪に巻き込まれた人がいないから”で、減少傾向も5割台半ば

問25で「1. 良い」、または「2. どちらかといえば良い」とお答えの方に

問25-1 どのような点で治安が良いと感じますか（○は2つまで）。

図6-4-1 経年比較／区内の治安が良いと感じる点



※「防犯カメラが増えたことで、安心感があるから」は、26年度新設。

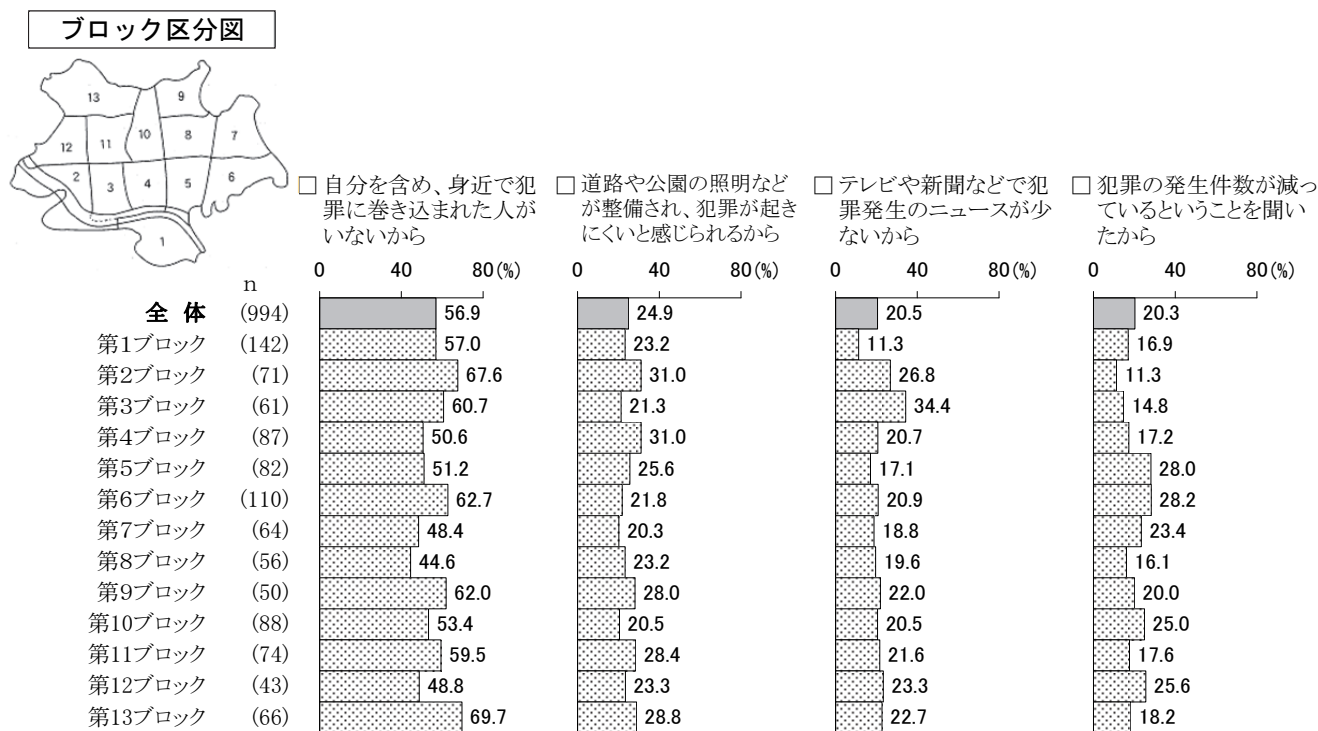
※「防犯に取り組む意識、活動が活性化してきていると感じられるから」は、25年度では「区全体の防犯に取り組む意識、活動が活性化してきていると感じられるから」。

【良い】と評価した人に、その理由を聞くと、「自分を含めて、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」が56.9%で最も高く、以下「道路や公園の照明などが整備され、犯罪が起きにくいと感じられるから」（24.9%）、「テレビや新聞などで犯罪発生のニュースが少ないから」（20.5%）の順となっている。

経年でみると、「自分を含めて、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」は今回56.9%と、平成26年の58.8%より1.9ポイント低くなっており、平成25年以降の減少傾向が続いている。

地域ブロック別でみると、「自分を含めて、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」は、第2ブロック、第13ブロックで、それぞれ67.6%、69.7%と高くなっている。「テレビや新聞などで犯罪発生のニュースが少ないから」は、第3ブロックで34.4%と高くなっている。また、「犯罪の発生件数が減っているということを聞いたから」は、第5ブロック、第6ブロックで、それぞれ28.0%、28.2%と、他のブロックよりやや高くなっている。

図6-4-2 地域ブロック別／区内の治安が良いと感じる点／上位4項目

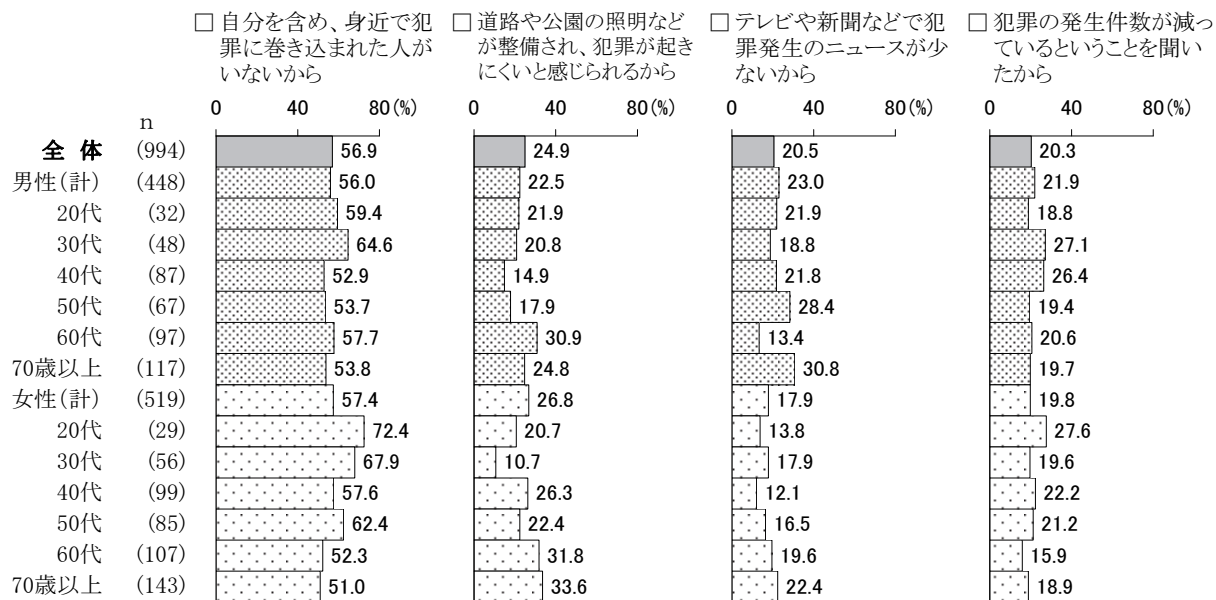


第3章 調査結果の分析

性別でみると、特に大きな差はみられない。

性・年代別でみると、「自分を含め、身近で犯罪に巻き込まれた人がいないから」は男性の30代で6割台半ば、女性の20代、30代で7割前後と高くなっている。

図6-4-3 性別、性・年代別／区内の治安が良いと感じる点／上位4項目

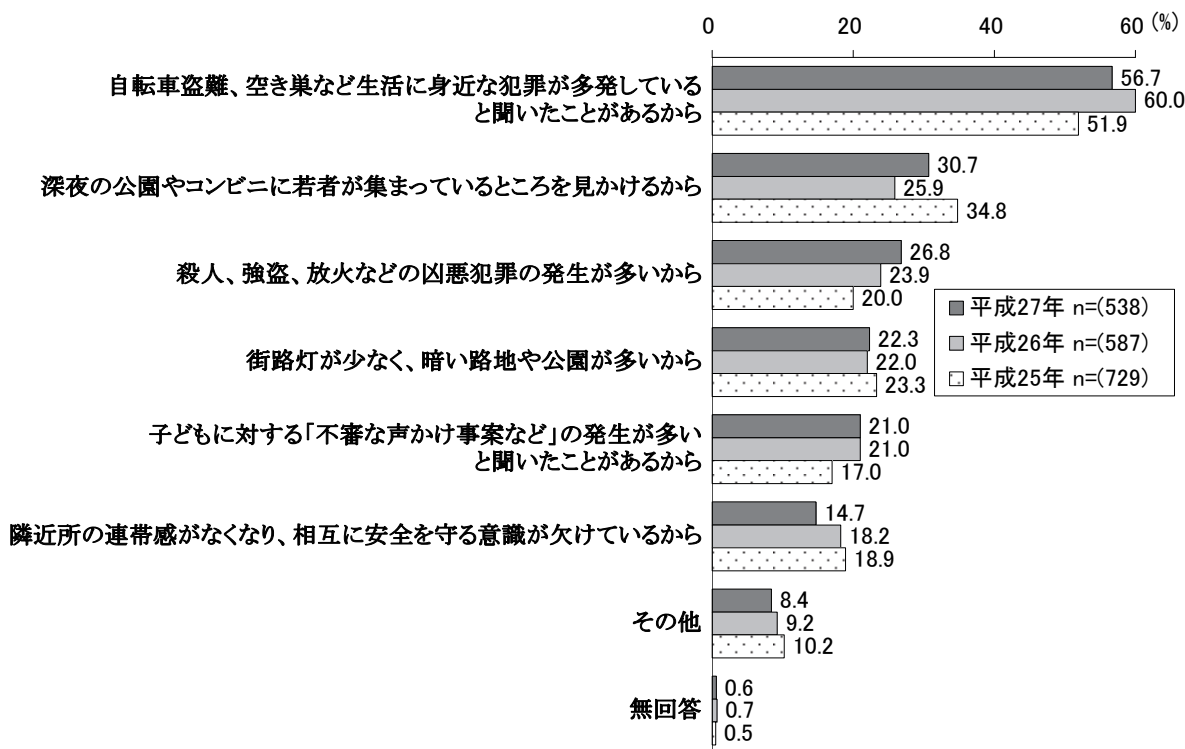


(5) 区内の治安が悪いと感じる点

■ “生活に身近な犯罪が多発していると感じたことがある”が5割台半ばで突出

問25で「3. どちらかといえば悪い」、または「4. 悪い」とお答えの方に  
 問25-2 どのような点で治安が悪いと感じますか（○は2つまで）。

図6-5-1 経年比較／区内の治安が悪いと感じる点



※「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると感じたことがあるから」は、25年度では「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発しているから」。

※「子どもに対する『不審な声かけ事案等』の発生が多いと感じたことがあるから」は、25年度では「子どもに対する『不審な声かけ事案等』の発生が多いから」。

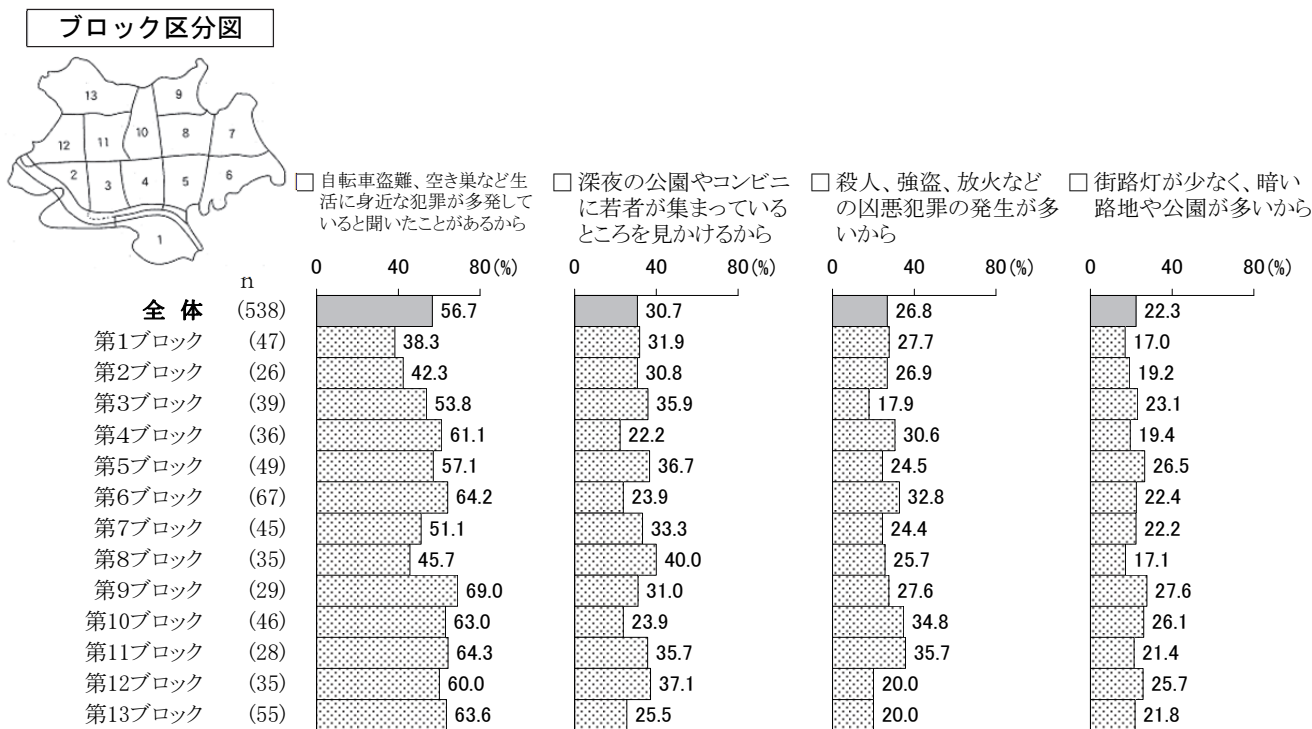
【悪い】と評価した人に、その理由を聞くと、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると感じたことがあるから」が56.7%で最も高く、以下「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」（30.7%）、「殺人、強盗、放火などの凶悪犯罪の発生が多いから」（26.8%）の順となっている。

経年でみると、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると感じたことがあるから」は今回56.7%と、平成26年の60.0%から3.3ポイント減少している。一方、「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」「殺人、強盗、放火などの凶悪犯罪の発生が多いから」は、いずれも微増している。

### 第3章 調査結果の分析

地域ブロック別でみると、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発していると聞いたことがあるから」は、第4ブロック、第6ブロック、第9ブロックから第13ブロックで6割を超えている。「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」については、第8ブロックで40.0%と最も高くなっている。また、「殺人、強盗、放火などの凶悪犯罪の発生が多いから」については、第4ブロック、第6ブロック、第10ブロック、第11ブロックで3割を超えている。

図6-5-2 地域ブロック別／区内の治安が悪いと感じる点／上位4項目

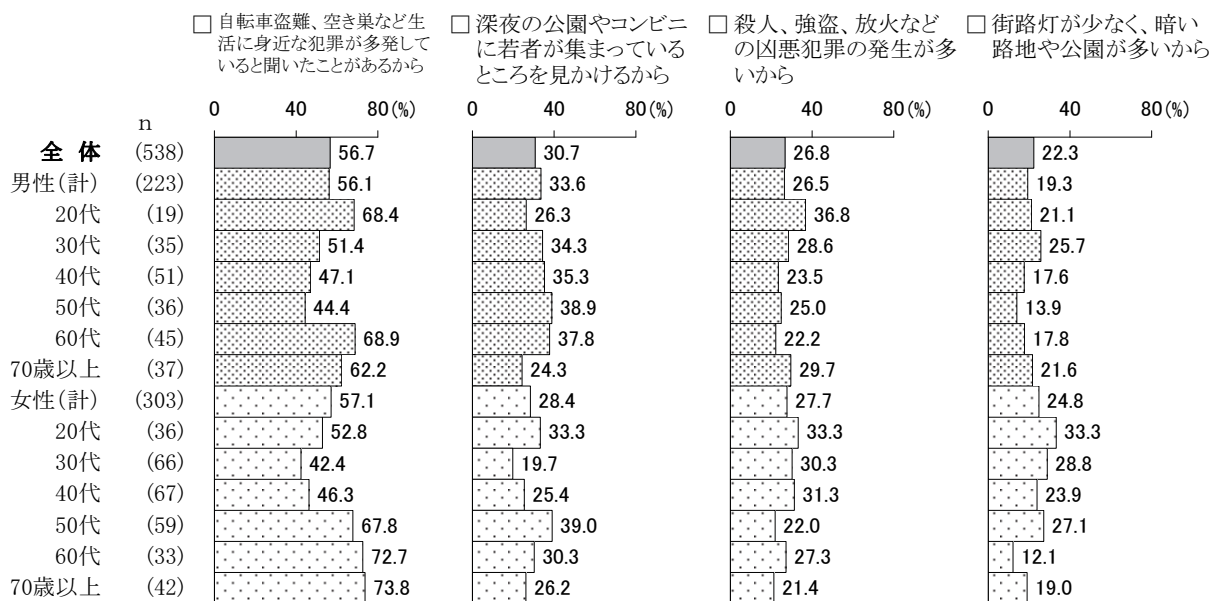




性別でみると、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発している」と聞いたことがあるから」では、男性56.1%、女性57.1%となっている。

性・年代別でみると、「自転車盗難、空き巣など生活に身近な犯罪が多発している」と聞いたことがあるから」は、女性の60代以上で7割を超えている。また、「深夜の公園やコンビニに若者が集まっているところを見かけるから」については、男性の50代、60代、女性の50代で4割弱と高くなっている。

図6-5-3 性別、性・年代別／区内の治安が悪いと感じる点／上位4項目

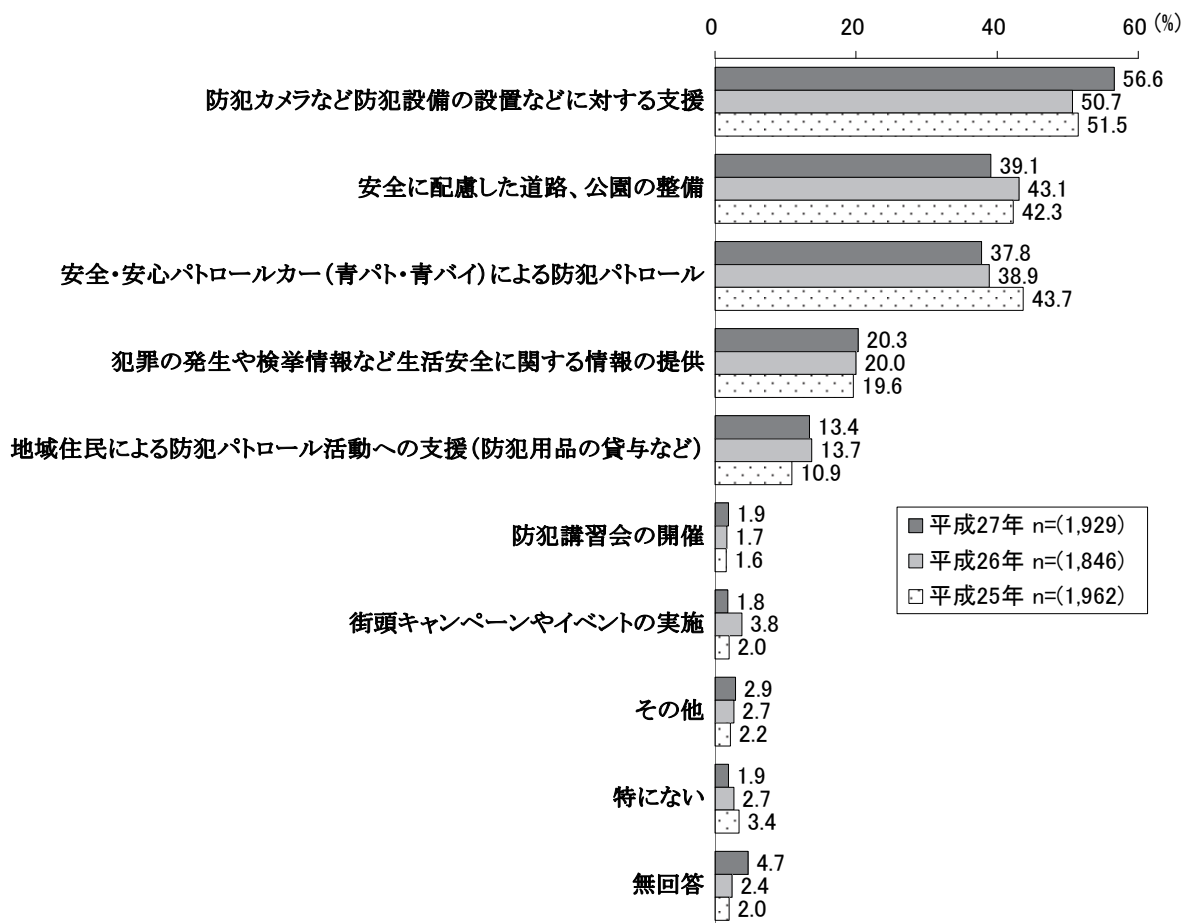


(6) 治安対策として区に力を入れてほしいこと

■ “防犯設備の設置等に対する支援” が5割台半ば、“安全に配慮した道路、公園の整備” “防犯パトロール” が4割弱

問26 あなたが、治安対策として足立区に特に力を入れてほしいと考えていることは何ですか（〇は2つまで）。

図6-6-1 経年比較／治安対策として区に力を入れてほしいこと

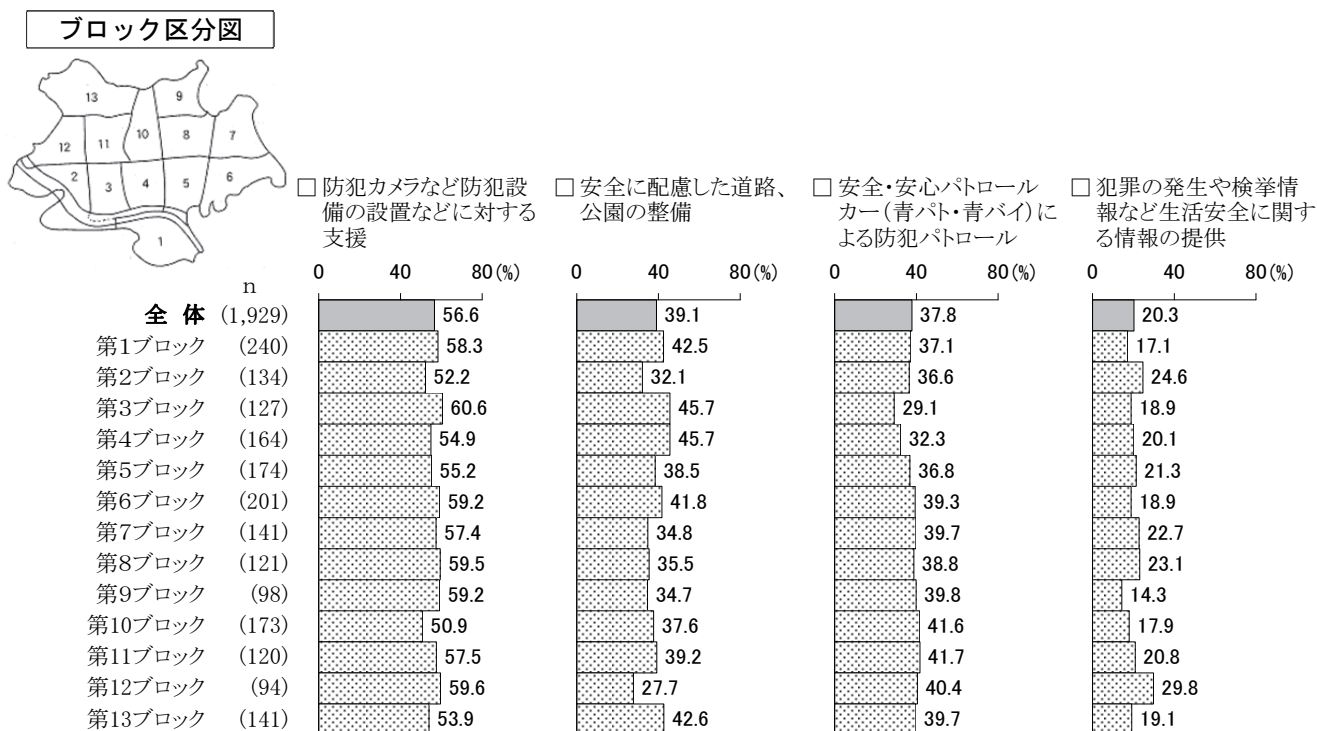


治安対策として足立区に力を入れてほしいこととしては、「防犯カメラなど防犯設備の設置などに対する支援」が56.6%で最も高く、以下「安全に配慮した道路、公園の整備」（39.1%）、「安全・安心パトロールカー（青パト・青バイ）による防犯パトロール」（37.8%）の順となっている。

経年でみると、「防犯カメラなど防犯設備の設置などに対する支援」については、今回56.6%と、平成26年の50.7%から5.9ポイント増加している。「安全に配慮した道路、公園の整備」は今回39.1%と平成26年の43.1%から4.0ポイント減少している。

地域ブロック別でみると、「防犯カメラなど防犯設備の設置などに対する支援」は、すべてのブロックで5割を超えている。「安全に配慮した道路、公園の整備」は、第3ブロック、第4ブロックで、それぞれ45.7%、45.7%と、他のブロックより高くなっている。「安全・安心パトロールカー（青パト・青バイ）による防犯パトロール」は、第3ブロック、第4ブロックで、それぞれ29.1%、32.3%と、他のブロックよりやや低くなっている。

図6-6-2 地域ブロック別／治安対策として区に力を入れてほしいこと／上位4項目



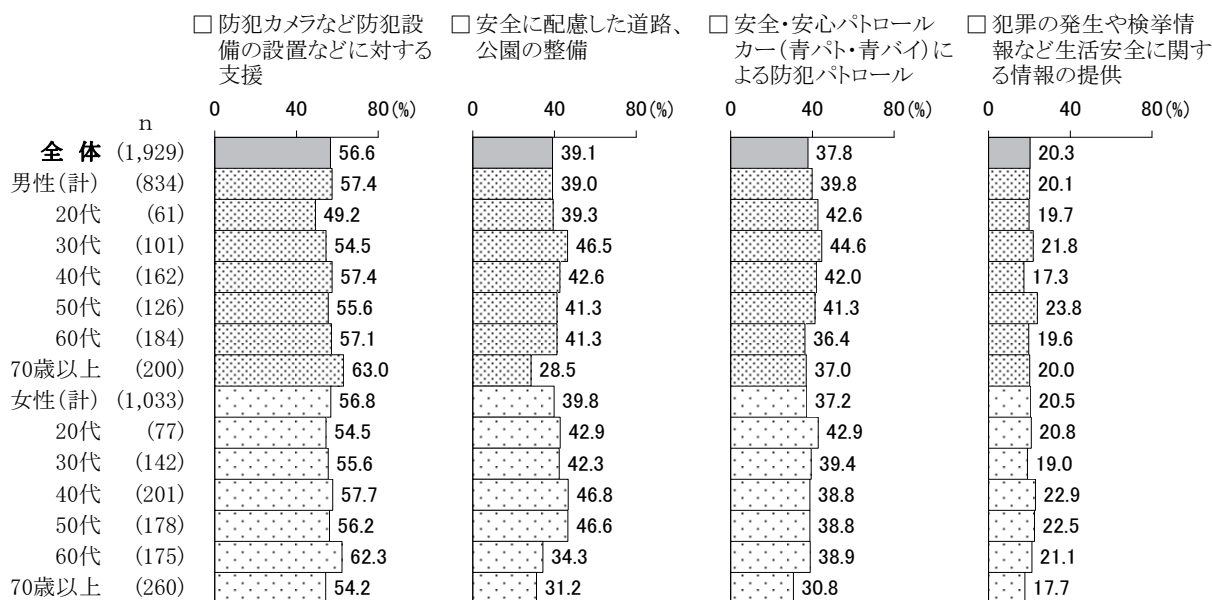
### 第3章 調査結果の分析

性別でみると、上位項目に大きな男女差はみられない。

性・年代別でみると、男性では、「防犯カメラなど防犯設備の設置などに対する支援」は、30代以降では5割を超え、とくに70歳以上では63.0%となっている。「安全に配慮した道路、公園の整備」は、30代で46.5%と高くなっている。また、「安全・安心パトロールカー（青パト・青バイ）による防犯パトロール」は、20代から50代で4割を超えている。

女性では、「防犯カメラなど防犯設備の設置などに対する支援」が、全年代で5割を超え、とくに60代では62.3%となっている。「安全に配慮した道路、公園の整備」は、20代から50代で4割を超えている。また、「安全・安心パトロールカー（青パト・青バイ）による防犯パトロール」は、70歳以上を除くといずれの年代でも4割前後を占めている。

図6-6-3 性別、性・年代別／治安対策として区に力を入れてほしいこと／上位4項目

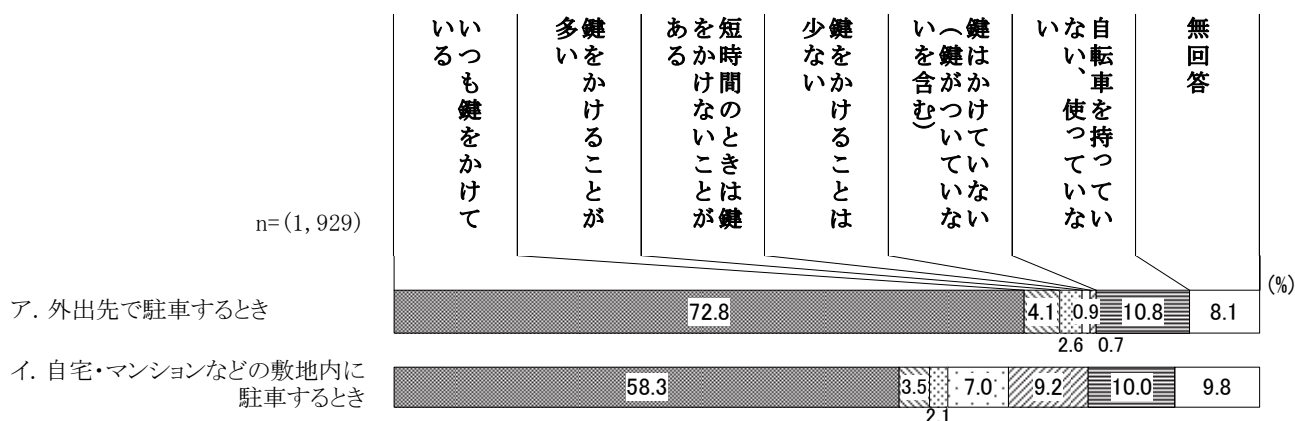


(7) 駐輪時の鍵かけ状況

■ 「いつも鍵をかけている」は、外出先の7割強に対し、敷地内では6割弱

問27 あなたは、自転車を駐車するときには、自転車に鍵をかけていますか（○はそれぞれ1つつつ）。

図6-7-1 駐輪時の鍵かけ状況



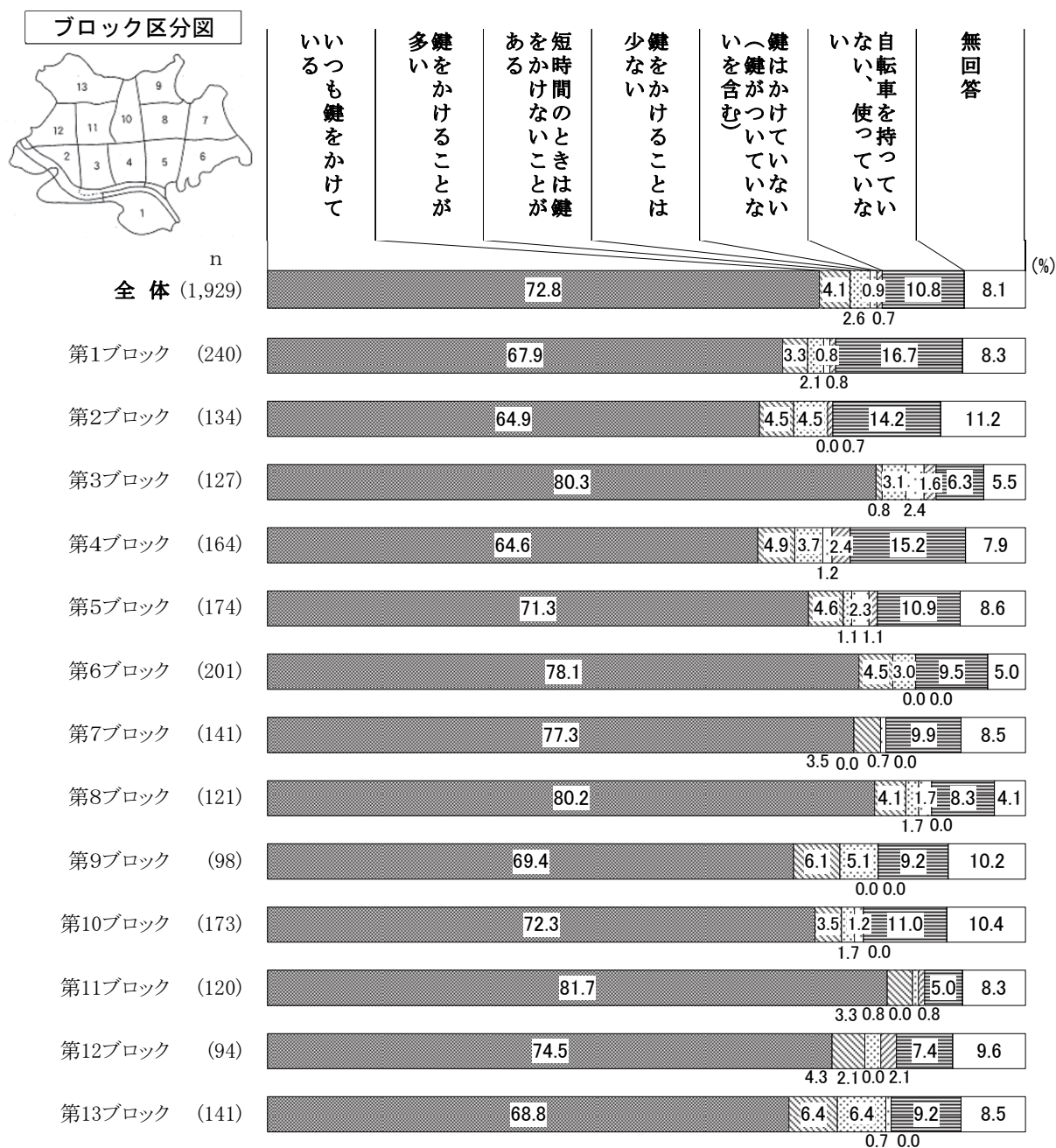
外出先で、自転車を駐車したときに鍵をかけているかについては、「いつも鍵をかけている」が72.8%で最も高く、次いで「鍵をかけることが多い」(4.1%)となっている。一方、「短時間のときは鍵をかけないことがある」は2.6%、「鍵をかけることは少ない」は0.9%、「鍵はかけていない(錠がついていないを含む)」は0.7%となっている。

自宅・マンションなどの敷地内に自転車を駐車したときに鍵をかけているか、については、「いつも鍵をかけている」が58.3%で最も高く、次いで「鍵をかけることが多い」(3.5%)となっている。一方、「短時間のときは鍵をかけないことがある」は2.1%、「鍵をかけることは少ない」は7.0%、「鍵はかけていない(錠がついていないを含む)」は9.2%となっている。

第3章 調査結果の分析

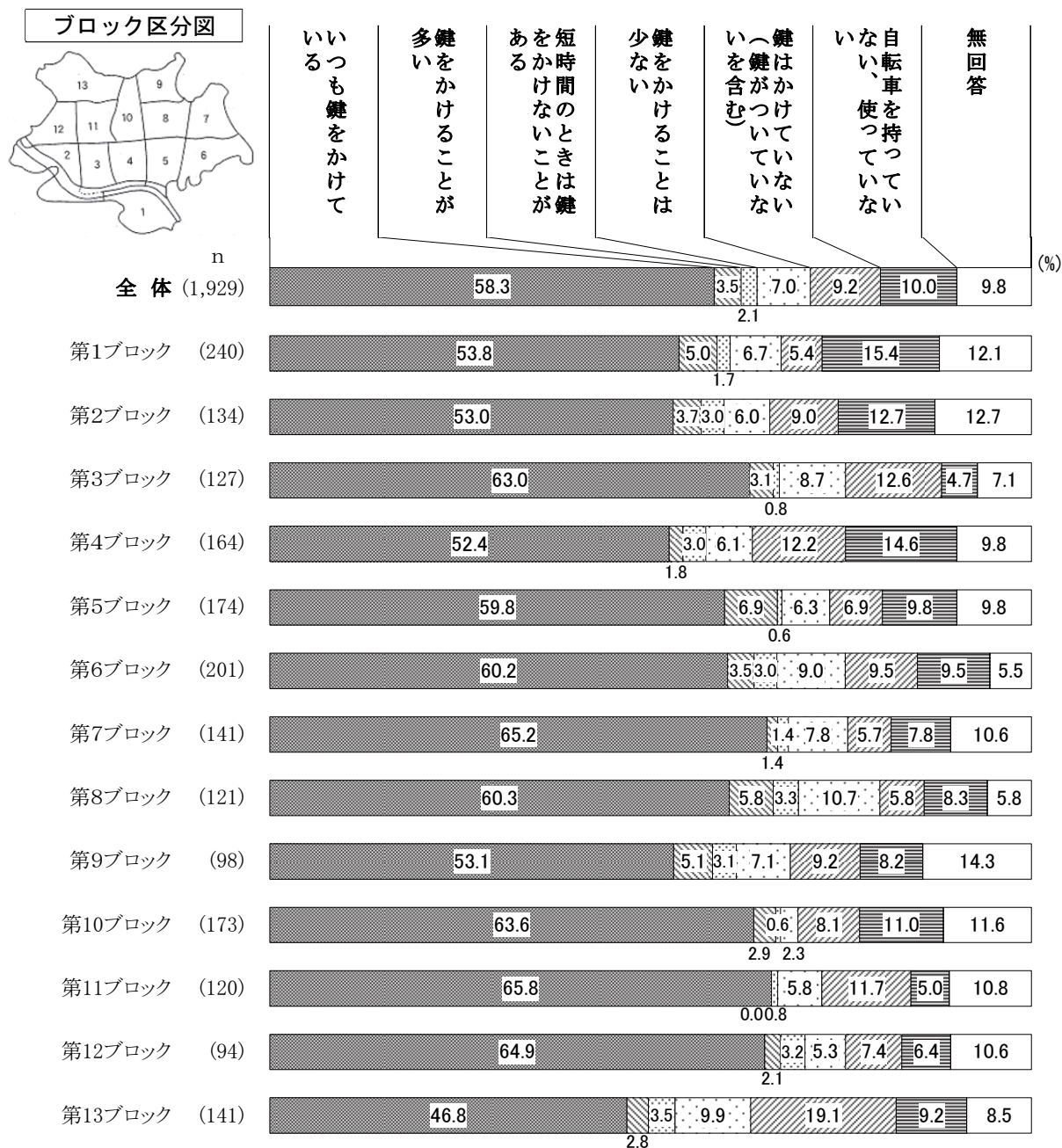
外出先で、自転車を駐車したときに鍵をかけているかについて、地域ブロック別でみると、第3ブロック、第8ブロック、第11ブロックでは「いつも鍵をかけている」が8割を超えている。

図6-7-2-① 地域ブロック別／駐輪時の鍵かけ状況／外出先



自宅・マンションなどの敷地内に自転車を駐車したときに鍵をかけているかについて、地域ブロック別でみると、第3ブロック、第7ブロック、第10ブロックから第12ブロックでは、「いつも鍵をかけている」が6割台半ば前後を占めている。

図6-7-3-② 地域ブロック別／駐輪時の鍵かけ状況／敷地内

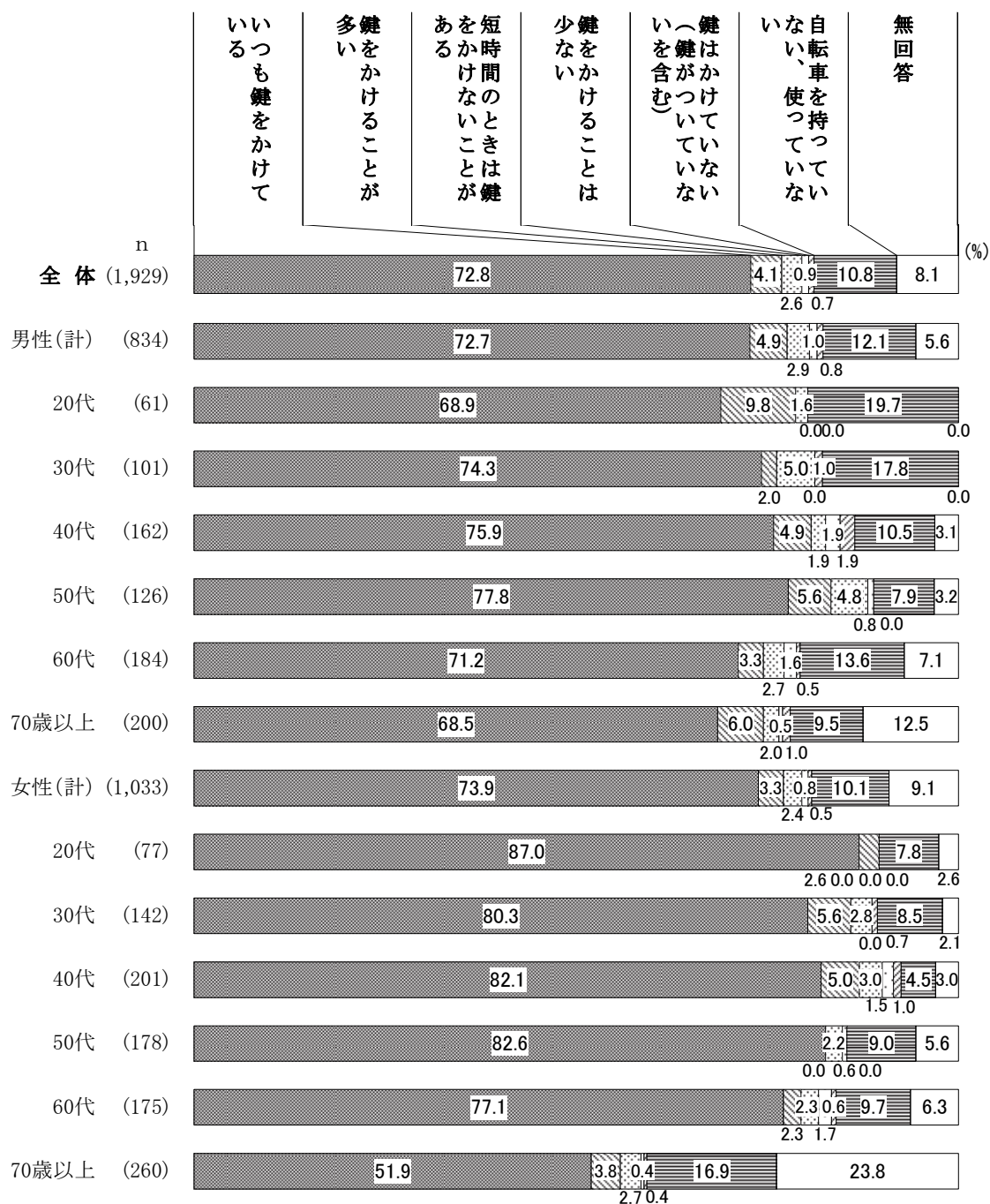


第3章 調査結果の分析

外出先で、自転車を駐車したときに鍵をかけているかについて、性別でみると、「いつも鍵をかけている」は男性72.7%、女性73.9%となっている。

性・年代別でみると、70歳以上の女性を除くと、男女各年代とも「いつも鍵をかけている」が高くなっている。

図6-7-4-① 性別、性・年代別／駐輪時の鍵かけ状況／外出先





自宅・マンションなどの敷地内に自転車を駐車したときに鍵をかけているかについて、性別でみると、「いつも鍵をかけている」は男性60.8%、女性57.7%となっている。

性・年代別でみると、男性では、50代で「いつも鍵をかけている」が73.8%と高くなっている。一方、20代、60代、70歳以上では「いつも鍵をかけている」は5割台となっている。

女性では、20代では「鍵をかけている」が72.7%と高く、30代から50代でも6割を超えているが、70歳以上では37.3%と低くなっている。

図6-7-5-② 性別、性・年代別／駐輪時の鍵かけ状況／敷地内

